

令和2年度茨城県産業安全衛生大会 茨城労働局長表彰式

茨城労働局労働基準部健康安全課

第71回を迎えた全国労働衛生週間行事の一環として、労働災害の撲滅と職場の労働衛生管理水準の一層の向上を期して、令和2年度茨城県産業安全衛生大会が、去る10月2日(金)ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県民文化センター)大ホールにおいて、県内6つの労働災害防止団体が主催し、茨城県、(一社)茨城県経営者協会、日本労働組合総連合会茨城県連合会及び茨城労働局の後援、茨城県産業保健総合支援センターの協賛により開催されました。

本年は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、表彰式に特化した大会となりました。

各団体の表彰に加え、茨城労働局長表彰として、4つの事業場及び3名の功労者を表彰しました。

本表彰は、無災害の期間が特に優れており、職場の危険・有害要因を低減する取組、職場の健康増進の取組が特に活発に行われているなど、他の模範となる優良な事業場、団体やその役員、学識経験者など、長年にわたり安全衛生活動の指導的立場にあり、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした功労者を表彰するものです。

【優良賞】三井住友・岡部・日興特定建設工事共同企業体(仮称)北沢トンネル本体工事(その2)

太陽日酸東関東株式会社

株式会社ヤクルト本社 茨城工場

【奨励賞】植村工業株式会社 竜ヶ崎工場

【功績賞】矢萩篤史 元日本作業環境測定協会北関東支部茨城分会 分会長

氷熊則明 建設業労働災害防止協会茨城県支部鹿島分会 安全専門指導委員長

【安全衛生推進賞】小林義則 一般社団法人龍ヶ崎労働基準協会 事務局長

また、表彰式では、各賞の授与に先立ち、令和2年7月30日内閣総理大臣官邸において執り行われました令和2年度安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞された、日本化薬株式会社鹿島工場が紹介され、受賞の披露と共に表彰状及び楯の展示が行われました。日本化薬株式会社鹿島工場は、昭和57年12月の操業開始以来、37年間無災害を継続し、健康対策はもとより、各リスクの低減に努め、労働安全衛生マネジメントの導入、安全衛生活動に係る取組の確立等によって、地域の労働災害防止及び産業安全衛生水準の向上の多大な貢献が認められ、この度の表彰となったものです。

最後に、労働災害の防止と「安全」、「健康」、「快適」な職場環境形成に全力を挙げて邁進することを誓う大会宣言案が読み上げられ、採択されて大会が終了しました。

